

KOREC Message

ボランティア科目

ボランティア活動の実績をもとに単位を認定します。単位は、ボランティア活動そのものについて認定するのではなく、ボランティアの経験によって学んだことをまとめたレポートによって評価します。

※入学年度や所属学部により科目名称・単位数・必要時間数が異なります。
また、履修制限にかからない、卒業単位に含まれない場合もあります。

科目区分	履修対象	科目名	単位	時間数
キャリア創生 共通科目	全学部	実践ボランティアI	1	30時間
		実践ボランティアII	1	30時間

活動期間：4月～翌1月上旬まで。休日や授業のない平日、および長期休暇中。
複数のボランティア活動を組み合わせることもできます。

KONANボランティアサーティフィケート

KONANボランティアサーティフィケートは、ボランティアや地域活動の実績に応じた級を学長名で授与する制度です。3つの級を設けており、各級に共通して、ボランティアに取り組む自発的な行動力と継続力を基本的な力として重視しています。それをもとに、ボランティアや地域連携に必要な知識や探究心、情報発信力や企画力、および自ら課題を発見し解決する力などを多面的にみて認定します。

1級		ボランティア・地域活動に継続的に取り組む力(60時間以上)を持つとともに、自分で地域の課題を発見し、その解決のために主体的に活動できる力を持っている。
2級		ボランティア・地域活動に継続的に取り組む力(40時間以上)を持つとともに、ボランティア・地域連携に必要な探究心・発信力・企画力・行動力などを持っている。
3級		ボランティア・地域活動に取り組む力(20時間以上)を持つとともに、ボランティア・地域連携に必要な探究心・発信力などを持っている。

LET'S KOREC

STEP
01

情報を探す・申し込む

地域連携センター窓口、HP、MyKONAN、ML、X(旧Twitter)、学内掲示板でボランティア活動や地域活動の情報を紹介しています。興味・関心のある活動に積極的に申し込みましょう。



STEP
02

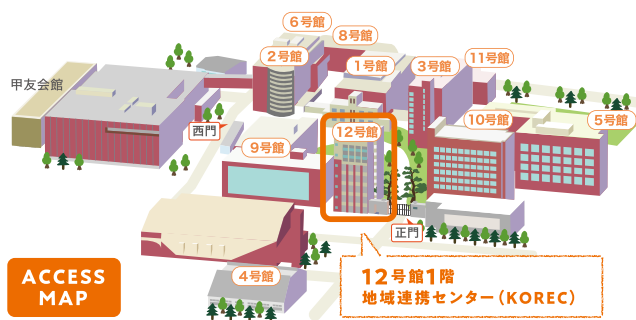
活動に参加する

活動開始前には日時・場所・持ち物・服装・注意事項などを活動先の方と確認しましょう。活動前、活動中も分からないことや困ったことは活動先の方に相談します。活動先や関わる人々と「共に学ぶ」姿勢を大切にしながら、活動に参加しましょう。

STEP
03

活動を記録する

活動記録ノートに活動内容を記録して、ボランティア科目やKONANボランティアサーティフィケートの取得にチャレンジしましょう。



ACCESS
MAP

12号館1階
地域連携センター(KOREC)

甲南大学 地域連携センター(KOREC)
〒658-8501 神戸市東灘区岡本8-9-1 12号館1階
TEL : 078-435-2276 FAX : 078-435-2302
e-mail : korec@ml.konan-u.ac.jp

 甲南大学
KONAN UNIVERSITY

KOREC

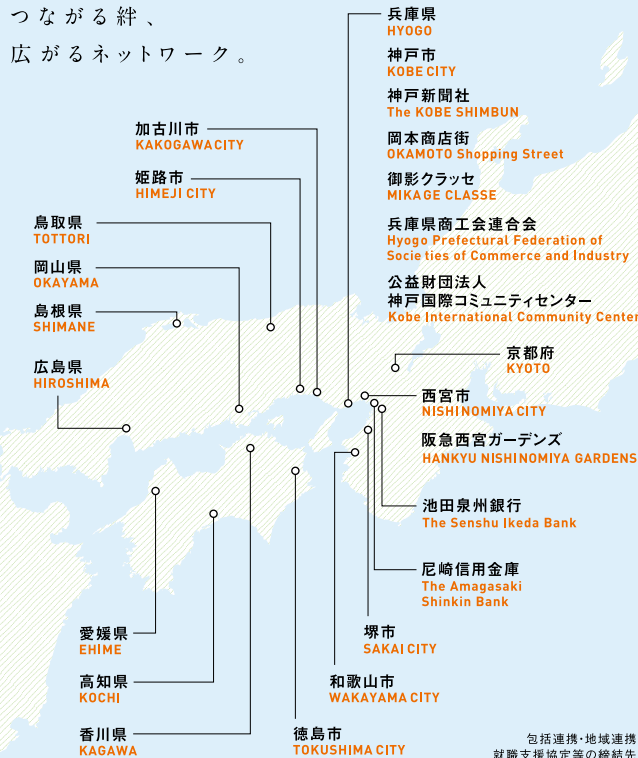


まだ知らない「わたし」がいた。

人間的な成長を実現する、 そのチャンスとなる **地域連携**。

地域連携センター(KOREC)は2011年の開設以来、おもにボランティア活動の推進や地域連携を通じた教育プログラムの開発に取り組んできました。KORECがこうした活動をおこなっている理由は、大学というものが知的プラットフォームとなることで地域の産業やコミュニティの発展を支援したいという想いです。さらにもうひとつの理由は、地域連携の現場は学生たちの学びの場として有益で、「人物教育のクオリティ・リーダーをめざす」という大学の教育ビジョンを実現するための舞台になると考えているからです。大学における学部学科での学びにより、専門的な知識や技能を身につけることができますが、より幅広い常識や素養を身につけてこそ社会人として認められるのです。学生のみなさんには、地域連携センターを通じてボランティア活動や地方自治体・企業との連携プロジェクトに参加することで、ぜひともそうした社会人として必要な能力を身につけてほしいと思います。

つながる絆、
広がるネットワーク。



ボランティア活動について

Volunteer Activities

多彩なボランティア情報のなかから、
貴重な出会いとなる活動がきっと見つかる。

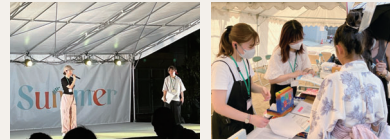
甲南大学と地域をつなぐ窓口である地域連携センターには、さまざまなボランティア情報が集まります。いままでボランティア経験がない人でも気軽に参加でき、自分の興味に関連のある活動はもちろん、将来にも役立つような体験に出会うことができます。



文学部 社会学科 2年生
松元 麗衣さん

岡本商店街「Festa di Summer」

岡本商店街を甲南生で盛り上げたい。
イベントを企画し運営の難しさを痛感。



岡本商店街は甲南大学の近くにあるにもかかわらず地域住民と学生の交流が少なく、コミュニティが希薄化していることが課題となっていました。2年生の夏に参加したボランティア活動では、岡本商店街主催の夏祭りイベント「Festa di Summer」で学生と地域住民が参加できるイベントを企画。地域の子どもたちがオリジナルのキャンドルライトを作って商店街のお店を回り、シールを集めるというイベントを実施しました。企画からイベント当日まで「何をどのように、いつまでに、誰が責任を持って行うのか」、それぞれ考えの違う人をまとめる難しさなど、運営や企画を実現させる困難さを痛感。この経験は何物にも代えがたく、自身の成長にも繋がったと思います。

学・産・官連携プロジェクト

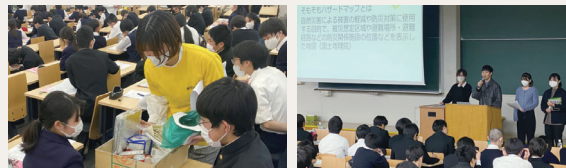
Cooperation with Partners

大学という枠を超えよう！
甲南大学ならではの地域連携

甲南大学は、地方自治体、コミュニティ、企業などと連携協定を結び、学・産・官が協力しあいがらの社会貢献活動を積極的に推進。これにより、学生たちが参加できる地域活動の舞台がますます拡大しています。

甲南大学×東京海上日動×神戸市

甲南大学と東京海上日動火災保険・神戸市が共同で
中学生に「ぼうさい授業」を実施。



東京海上日動火災保険のCSRの取り組みの一つである「ぼうさい授業」を神戸市立魚崎中学校の2年生を対象に実施。神戸市職員にもアドバイスをもらいながら、防災に関するワークショップに取り組みます。2023年度には、「過去の教訓から学ぶ防災のための情報収集と身を守る行動」をテーマに、ハザードマップの見方を学び実際の避難を考えるワークと、元日に発生した能登半島地震の被災状況も取り入れながら、災害時にはどのような状況となり、どのような行動を取るべきかを学び考えるワークに取り組む授業を実施しました。

地域と繋がる活動助成金プロジェクト

KONAN Premier Project

学生ならではのアイデアをカタチにし、
地域貢献として実現するチャンス。

甲南大生の皆さんが地域社会や団体との連携を積極的に進められるように助成金を通じて活動をサポートします。募集期間や応募方法についてはKORECにお問い合わせください。

Bambooに Thank you Project

文学部 社会学科 3年生
久保 千尋さん

文学部 英語英米文学科 3年生
辻堂 成章さん

「放置竹林問題」解決を目指し、竹を活かした循環を生み出す。

2020年に実施された「関西湾岸SDGsチャレンジ」をきっかけに、2021年から甲南大学で「BambooにThank you Project」がスタートしました。日本全国で問題になっている「放置竹林問題」の解決に向けて、竹の特性を活かした循環を生み出す取り組みを行っています。今年度は、竹の伐採、大学内での竹灯籠作成ワークショップ、大学・商店街での竹灯籠の設置、竹林問題について知ってもらうためのポスター掲示やちらしの配布などを実施。助成金は竹灯籠の作成に必要な電動ドリルの刃の購入や、活動を宣伝するためのポスターの制作など、主に活動の認知拡大のために活用しました。プロジェクトやイベントの運営を通じて、自分から主体的に行動できるようになり、自分たちの成長にも繋がったのではないかと感じています。

KONAN サーティフィケート

KONAN Certificate

自主的に取り組むボランティア活動。
その努力を大学として評価し、
1~3級を授与。

甲南大生の皆さんの自主的な努力や挑戦を評価するKONANサーティフィケート。そのなかには、ボランティアサーティフィケートという部門があります。



経済学部 経済学科 3年生
松居 ももかさん

甲南生と地域のボランティアをつなぐ。大学からの評価で充実した4年間に。

勉強以外に何か挑戦したくて、地域と甲南生をつなぐKOREC学生コーディネーター「なんティア」に参加。そこで障がいや発達に心配のある子ども達が学ぶ放課後デイサービス「えびす」の存在を知り、2年生の夏からボランティアを始めました。「なんティア」ではボランティアに興味のある甲南生に自分自身の経験を交えながら、その人に合ったボランティアを紹介しています。サーティフィケートに挑戦したのは、相談に来る学生に安心してもらえるためにも必要だと思ったからです。普段の授業以外にも「学生だからできる活動」を大学から評価してもらえることは、大学の4年間をより豊かに過ごせることにつながります。大学が人間性を見られるという安心感もあります。

※学年は撮影時のものです。